

横浜の未来がここから始まる

横浜駅周辺大改造計画
中間報告の概要

東京方面

横浜港

横浜駅

東口

西口

戸塚方面

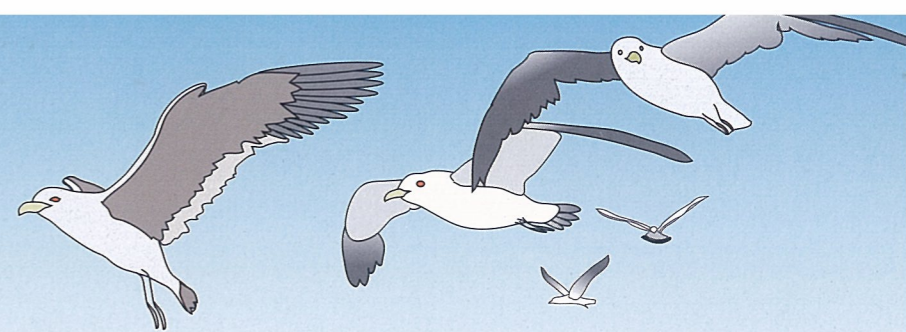


昭和30年 横浜駅
(東京方面より戸塚方面をのぞむ)

平成20年 2月

横浜駅周辺大改造 計画づくり委員会

YOKOHAMA 首都圏や世界に向けて誇れる「都市」を目指して



まちづくりの基本理念

なぜ、今 横浜駅周辺大改造なのか？

- 横浜都心は、その立地特性を活かし、港・空港・道路・鉄道が一体的に機能するまちをつくり、活力ある産業の集積とともに、新たな産業や観光資源の創出と活用に積極的に挑戦し、活力と競争力のある国際都市として、首都圏の一翼を担っていくことが求められています。
- 一日に約200万人が利用する首都圏有数のターミナルである横浜駅周辺が、業務・商業・文化・観光全ての面において、横浜都心の核となる必要があります。

社会・経済の動き

- 人口が減少し、少子高齢化が進行しています。
- 都市間競争が激化しています。
- 地域環境への関心が高まっています。

横浜駅周辺の現状

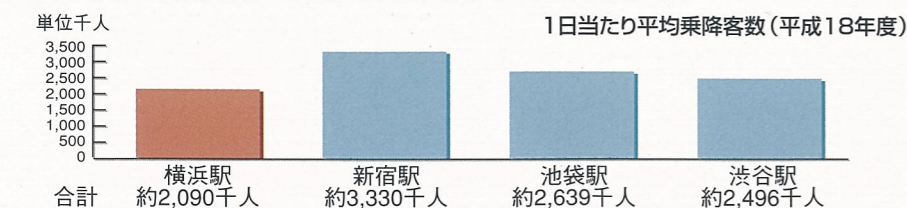
- 災害に対して脆弱です。



- まちとしての魅力が不足しています。



- 首都圏有数のターミナル駅です。(首都圏第4位)



出典:各鉄道事業者公表資料、横浜市「横浜市統計書」より作成
(注)JR東日本の公表数値は乗車人数であるため、2倍して乗降客数とした

1. 安全安心を実感できるまちを目指します
2. 都市機能の強化と新たな魅力を創出します
3. 新たな環境の創造に取り組みます
4. エリアマネジメントによるまちの運営を目指します

エリアマネジメント:一定の広がりを持った特定エリアについて継続的な視点で都市づくりから地域管理まで一貫して行う活動

まちの将来像

国際競争力のある横浜都心の玄関口としてのまち
都心の魅力を実感でき、豊かな時間を過ごせるまち
エリアマネジメントが行われているブランド力のあるまち



・横浜駅の再生

・西口東口の開発促進と交通基盤整備

・河川の浸水対策
・魅力的な親水空間の創出

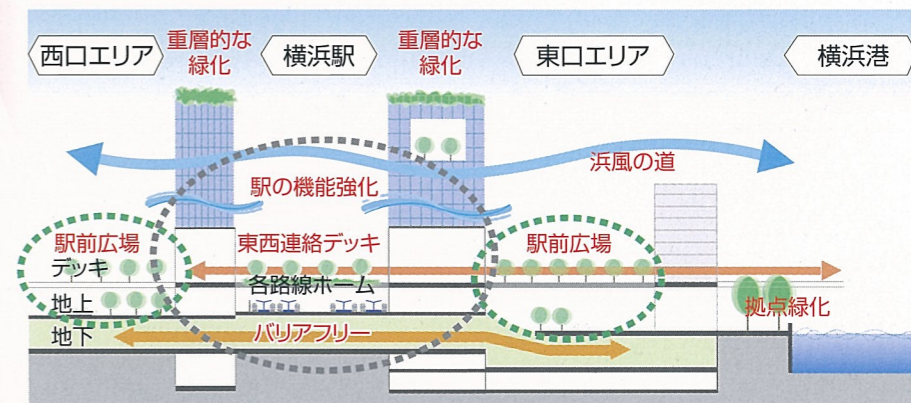
- ・魅力的な広場空間等の確保
- ・公共交通優先の歩行者中心のまち
- ・商業・業務・文化機能の強化・拡充
- ・エリアマネジメントによるまちづくり

横浜らしさを活かした魅力ある空間づくり



- ・海、川、風を意識した横浜らしい新たな魅力づくり
- ・再開発による、魅力的な空間づくり

国際都市横浜の顔づくり



- ・横浜らしく、誰もが感動を覚え、誇りに思える駅空間、シンボリックな駅舎の創出
- ・はじめて来る人にもわかりやすく、誰もが安心して利用できる駅の創出
- ・災害時にも、まちの中心として機能する駅空間づくり

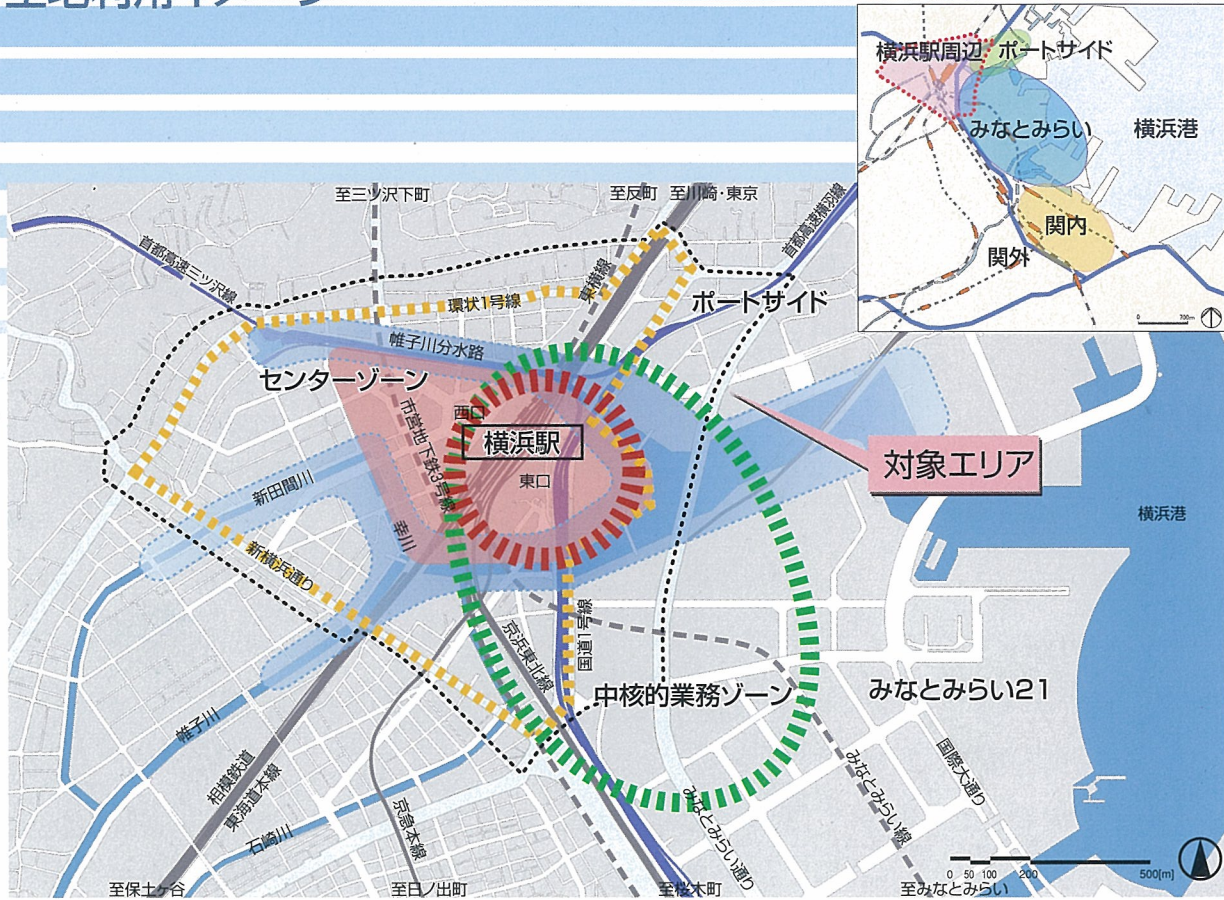
河川と共存するまちづくり



- ・横浜駅周辺にふさわしい治水安全度の確保
- ・イベント広場や緑豊かなプロムナードによるシンボル空間の形成
- ・まちから海へ、海からまちへ、横浜らしい水上交通の運行

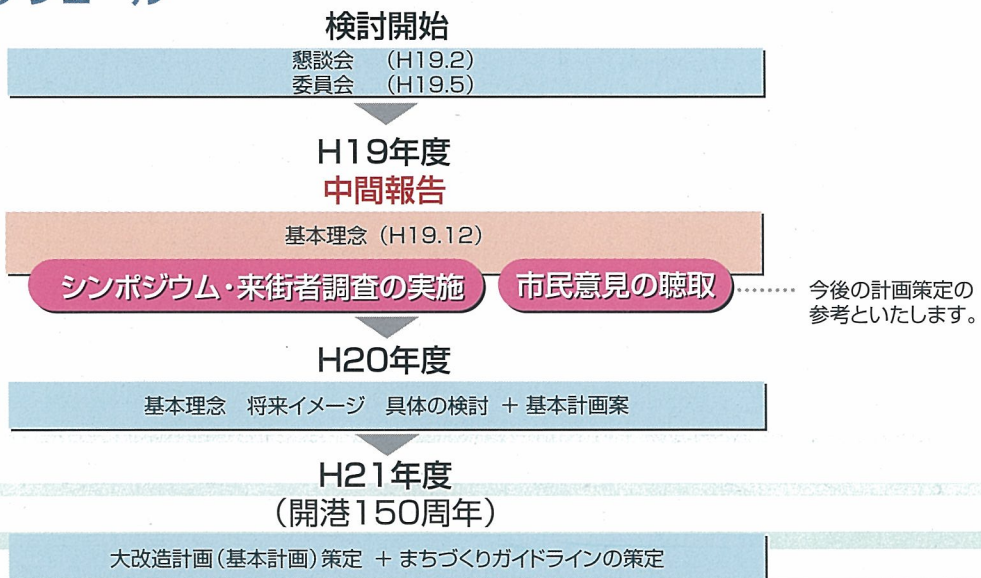
土地利用イメージ

横浜都心



凡例	説明
	センターゾーン：高度利用を図るエリア（交通施設・商業・業務等）
	水際ゾーン
	新都市機能ゾーン
	中核的業務ゾーン：日本を代表する企業や国際的な企業の中核機能、次代を担うベンチャー企業等
	商業・業務・文化機能等ゾーン：商業・業務・文化機能等（中核的業務機能をサポートする機能）

計画策定のスケジュール



このパンフレットは横浜駅周辺大改造 計画づくり委員会が作成しました。
 横浜駅周辺大改造 計画づくり委員会事務局 横浜市都市整備局 都市再生推進課
 〒231-0017 横浜市中区港町1-1 TEL 045-671-3857
 FAX 045-664-7694
 E-mail tb-tosai@city.yokohama.jp

